

航空大学校について

1. 概要

- ◆旧運輸省の附属機関として昭和29年7月に宮崎市に設置され、航空機操縦士の基礎教育を開始。養成規模の拡大に伴い、飛行訓練空域が宮崎1カ所では不足することとなったため、昭和44年4月に仙台分校、昭和47年5月に帯広分校を設置した。平成13年4月1日に独立行政法人へ移行。
- ◆卒業生の多くが航空会社の定期路線を中心に民間航空事業の中核で活躍し、航空会社のパイロットの約4割を占めている。

2. 目的

- ◆航空機の操縦に関する学科及び技能を教授し、航空機の操縦に従事する者を養成することにより、安定的な航空輸送の確保を図ること。

3. 定員

- ◆108名（27名×4回） 「入学回数」年4回

4. 出願資格

- ◆年齢：25歳未満
- ◆学歴：以下のいずれに該当する者
 - ・学校教育法による4年生大学に2年以上在学し、全修得単位数が62単位以上の者。
 - ・学校教育法による短期大学又は高等専門学校を卒業した者。
 - ・専修学校の専門課程の修了者に対する専門士及び高度専門士の称号の付与に関する規程による専門士又は高度専門士の称号を付与された者。
 - ・上記に掲げる者と同等以上の学力を有すると航空大学校理事長が認める者。
 - ・この他に視力、身長、血圧、聴力等の身体検査基準あり。